

## 完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業実施期間	平成18年度～平成22年度（5年間）																
事業実施地区名 （都道府県名）	あばしりとうぶ 網走東部森林計画区 （北海道）	事業実施主体	北海道森林管理局 あばしりちゆうぶ 網走中部森林管理署																
完了後経過年数	5年	管理主体	あばしりちゆうぶ 網走中部森林管理署																
事業の概要・目的	<p>本事業は、北海道の北東部に位置し、オホーツク総合振興局管内の東部、北見市を含む1市2町に所在する国有林約106千haを対象としている。</p> <p>本事業地は、低山性の山地で構成されている佐呂間別川地域とトドマツやカラマツの人工林、天然生の針広混交林から森林を構成する常呂川上流地域に大別され、大半が水源かん養保安林に指定されている。また、河川やダムの上流部に位置する森林は、その殆どが国有林であり、全道一のたまねぎ生産を初め、畑作と酪農を主体とする地域の基幹産業にも大きく寄与しているところであり、その他にも地域の水源とし、土砂や濁水の流出を防止するなど、森林の有する水源涵養機能及び山地災害防止機能の持続的発揮に向けた森林整備が強く求められる地域である。</p> <p>また、同地域で生産される木材は、全道の製材出荷量としても高い割合を担っており、森林資源の豊富な地域としても知られている。</p> <p>本事業では、これらの地域の期待や要請に応えるとともに、水源涵養機能の発揮や地球温暖化防止等森林の有する多面的機能の発揮のために必要な、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施した。</p> <p>・主な事業内容：</p> <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新</td> <td>82</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育</td> <td>3,953</td> <td>ha</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設 延長</td> <td>1.0</td> <td>Km</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良 延長</td> <td>1.2</td> <td>Km</td> </tr> </table> <p>・総事業費 2,014,653 千円</p>			森林整備	更新	82	ha		保育	3,953	ha	路網整備	開設 延長	1.0	Km		改良 延長	1.2	Km
森林整備	更新	82	ha																
	保育	3,953	ha																
路網整備	開設 延長	1.0	Km																
	改良 延長	1.2	Km																
① 費用対効果分析の算定基礎となった要因の変化	<p>平成28年度時点における費用対効果分析の結果は以下のとおりである。</p> <p>総 便 益 (B) 24,801,991 千円（事業採択時： 9,495,397 千円）</p> <p>総 費 用 (C) 6,138,023 千円（事業採択時： 1,186,238 千円）</p> <p>分析結果 (B/C) 4.04 （事業採択時： 8.00 ）</p>																		
② 事業効果の発現状況	<p>・更新・保育によって4,035haの森林が整備されたことにより、水源の涵養や国土の保全、炭素の固定による地球温暖化防止等、森林の有する公益的機能の維持増進が図られた。</p> <p>・開設及び改良によって2.2Kmの林道が整備されたことにより、木材の搬出距離・経費の縮減及び木材搬出用トラックの通行量の増加に対応したことで効率的な木材生産が図られた。</p> <p>・施業地まで自動車に対応できるようになり、効率的な森林管理の実施及び</p>																		

	<p>造林作業員の歩行時間の短縮や資材運搬等の経費の縮減が図られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・雇用の場を提供して、地域の社会経済に貢献した。</li> </ul>
③ 事業により整備された施設の管理状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・整備された森林の林況は、良好である。</li> <li>・路網整備された路線は、良好に維持・管理されている。</li> </ul>
④ 事業実施による環境の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林整備事業の実施により、山地災害防止や水源涵養など機能類型の区分に応じた森林が形成され、水源の涵養、山地災害の防止、炭素固定などの公益的機能が発揮されている。</li> <li>・路網整備事業の実施により、作業コストの縮減等が図られるようになり木材生産機能が形成されている。</li> <li>・周囲の森林と調和した適切な森林施業は自然景観の保持に役立ち、保健文化機能を充実させている。</li> </ul>
⑤ 社会経済情勢の変化	<p>網走東部（網走中部署）地域の経済情勢は、大きく変動している部分は見られないが、産業では畑作と酪農を主体とする生産性の高い農業が展開されている。また、オホーツク海沿岸やサロマ湖を漁場としている漁業や観光資源など、地域の特徴を活かした経済を担っている。</p> <p>林業では、高性能林業機械を含む機械作業システムの導入が促進されており、森林施業に資する林道、林業專業道及森林作業道の有機的な連結により効果的な森林施業が展開されており、間伐等の推進が期待されている。</p>
⑥ 今後の課題等	<p>森林の持つ公益的機能を高度に発揮させるため、事業計画に基づいて着実に事業を実施することが必要である。</p> <p>なお、今般の事業実施に関する事業対象区域の地元意見は以下のとおりとなっている。</p> <p>（北海道）</p> <p>森林整備事業及び路網整備事業の実施により、森林の有する公益的機能の維持増進が図られたと認識している。今後も国有林と民有林で一層連携して森林整備を推進していただきたい。</p> <p>きたみ （北見市）</p> <p>市内の森林のうち国有林が占める割合が高い本市において、森林整備が着実に実施されたことは、森林の持つ多面的機能の向上につながるものと評価できる。</p> <p>今後も、森林の持つ多面的機能が持続できるよう事業を継続し、本市の豊かな自然環境の形成に寄与されることを要望する。</p> <p>さろま （佐呂間町）</p> <p>国有林は、町民への水源の供給の源となっており、引き続き機能が継続となるよう適切な森林整備をこれまでも増して、一層の整備推進を要望する。その他、森林浴、森林散策等の憩いの森の役割ともなっており、機能ご</p>

	<p>とに照らし合わせた森林整備にも取り組んで頂くようあわせて要望します。</p> <p>おけと (置戸町)</p> <p>町内の森林のうち国有林の占める割合が高い本町において、森林整備が着実に実施され、森林の有する多面的機能の維持・促進が図られたことは十分に評価できるものである。</p> <p>今後においても、森林の持つ多面的機能が持続的に発揮できるよう、より一層の事業実施を要望する。</p>
<p>森林管理局事業評価 技術検討会の意見</p>	<p>本事業の実施により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られてきており、事業の効果が発揮されていると認められる。</p>
<p>評価結果</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 必要性      本地域は、大半が水源かん養保安林に指定されており、また、沿岸部の漁業等に対する水質の保全に配慮した施業実施が求められている地域であり、更に、地球温暖化防止対策や国土保全の観点からも事業の必要性が認められる。</li> <li>・ 効率性      費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。</li> <li>・ 有効性      本地域は、北見市をはじめ、産業の中心となる畑作酪農である農業、水産漁業など、地域の基幹産業を担う重要な役割を担っている。</li> </ul> <p>このため、上流域の森林施業の在り方により受ける影響は大きく、計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られたことから、事業の有効性が認められる。</p>

## 別紙様式7

整理番号3

## 便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 網走中部森林管理署

事業実施地区名: 網走東部森林計画区(あばしりとうぶ)

(都道府県名: 北海道)

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額 (千円)	備 考
水源涵養 <sup>かん</sup> 便益	洪水防止便益	5,052,487	
	流域貯水便益	901,936	
	水質浄化便益	1,913,683	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,791,020	
環境保全便益	炭素固定便益	3,203,526	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	151,735	
	木材利用増進便益	149,060	
	木材生産確保・増進便益	5,616,936	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	15	
	森林管理等経費縮減便益	21,593	
総 便 益 (B)		24,801,991	
総 費 用 (C)		6,138,023	
費用便益比	B ÷ C =		4.04

